

道の駅 さるふつ公園売店 ななかまど

# 装いも新たに、3年ぶりに再開

## パンのほか、猿払村内の工芸作家の作品も販売しています。

# ななかまど

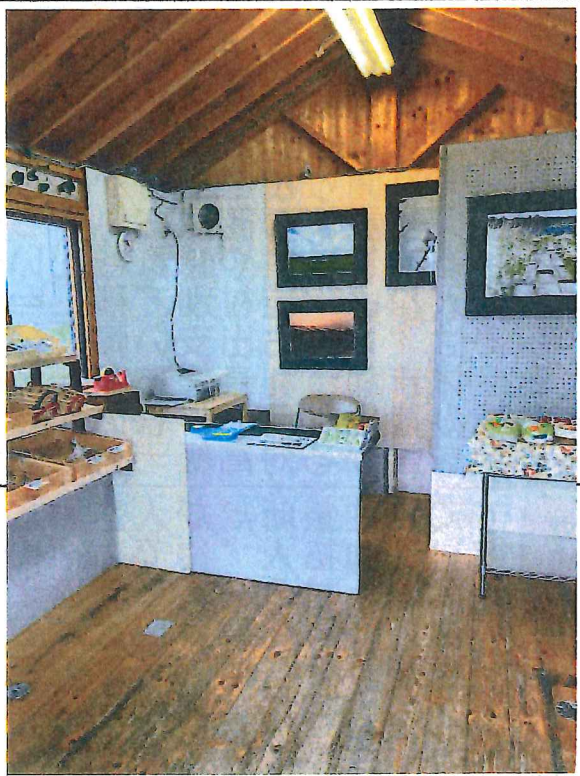
令和5年5月1日(月)  
第58号  
一般社団法人  
猿 払  
ななかまどの会  
会 報

コロナのため2019年10月27日を最後に休店状態だった道の駅さるふつ公園内の売店「ななかまど」が、装いも新たに去る4月29日再開しました。

3年半ぶりの営業です。販売品目は、種類が増えた「ななかまどのパン」、村内ハンドメイド作家の「シーグラス」、「ピアス」「陶芸品」「フエルトのままごとセット」「バック」等々。

その他に、イトウのTシャツ、まるごとほたてらあめん、写真集「猿払の四季」も用意しました。

今後、村内の作家さんの作品を展示する予定です。収益は、障がい者の賃金や事業所建設資金に当てられます。皆様のご支援ご協力をお願いします。



開店初日、10時オープンとともに観光客でしよう



か何組か来店していただきパンを購入、3時までにはほぼ完売しました。

売店「ななかまど」  
営業時間 10時～15時まで  
毎週土日、祝日(10月一杯)

# 地活センター「みらい」スタート

## 村内の障がい者の集いの場が遂に誕生しました

4月1日、保健福祉センター内に「猿払村地域活動支援センター」が設置され、事業がスタートしました。

設置の目的は、「障がい者等の地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜（便利のよいこと）を供与（利益を得させること）するため、地域活動支援センター事業をおこなうことにより、障がい者の地域生活支援の促進を図ること」と要綱に書かれています。利用対象者は各種障がい者手帳を交付されている人と自立支援医療受給者証の交付を受けている人になっていきます。

また、「その他村長が特に必要と認められた者」となっているため、支援のためのボランティア等も利用できそうです。

事業内容は「創作的活動」や「生産活動の機会の提供等」の支援となっています。

具体的にはどんなことをするのか第1回目の集まりでおおよその計画を話し合ってきました。

した。

保健センター職員や利用者、ボランティア合わせて10数名の参加で、調理実習やパン作りなどの体験活動、プランバンやスクラッチボードなどの創作活動、小旅行等の希望がありました。次の開設日5月25日までに事務局のほうで年間計画を作り上げるそうです。

センターの名前も利用者からのアイデアで「みらい」と決まりました。

障がい者の未来に向けて「明るいみらい」のあるセンターにしたいですね。

利用者が「各種障がい者手帳の交付されている者」となると当然特別支援学級の児童・生徒や村出身の高齢者・支援学校の生徒も利用対象者になります。そうなることと平日の開設では、利用が難しくなりますね。また、仕事をしている人は休みをもらわないと参加できませんね。いろいろ課題もあるようです。1年やってみて、より利用勝手のいい地活センターになればいい

です。

是非なかまどの会の会員、役員も地活センターのボランティアとして参加して欲しいと思います。

### 村議選がありました

16年ぶりに猿払村議会議員選挙が4月18日告示、23日投票で実施されました。8人の定数で10人の立候補者。内訳は女性も含め新人3人、現職7人で5日間の選挙活動が繰り広げられました。結果は現職5人と新人3名全員が当選。猿払村議会初めての女性議員が誕生しました。8人が力を合わせて村民の声を村に届けて欲しいですね。

核兵器の使用は絶対反対！

### 戦争反対

なかまどの会は障がい者の社会参加を応援している公益法人です